

主要経済指標等 (2012年)

| | |
|----------------|-----------|
| ●人口 | 3,252万人 |
| ●GNI 総額 | 927.04億ドル |
| ●GNI 一人あたり | 2,910ドル |
| ●経済成長率 | 2.7% |
| ●失業率 | 9.0% |
| ●対外債務残高 | 338.16億ドル |
| ●援助受取総額 (支出純額) | 14.80億ドル |
| ●D A C 分類 | 低中所得国 |
| ●世界銀行分類 | iii/低中所得国 |

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対モロッコ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

| 年度 | 円借款 | 無償資金協力 | 技術協力 |
|--------|----------|--------|----------------|
| 2009年度 | 239.42 | 6.97 | 8.83(8.50) |
| 2010年度 | - | 6.72 | 8.02(7.87) |
| 2011年度 | 234.21 | 3.67 | 9.56(9.13) |
| 2012年度 | 107.90 | 6.35 | 7.48(7.03) |
| 2013年度 | 88.99 | 0.14 | 9.34 |
| 累計 | 2,899.00 | 350.03 | 355.56(349.74) |

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

| | 過去データ | 最新データ |
|--|-------------|-------------|
| ●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合 | 2.5%(1991) | 2.5%(2007) |
| ●目標2: 初等教育における純就学率 | 56.7%(1990) | 96.5%(2012) |
| ●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数) | 0.68人(1990) | 0.95人(2012) |
| ●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり) | 79.9人(1990) | 31.1人(2012) |
| ●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり) | 300人(1990) | 100人(2010) |
| ●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値) | - | 0.02%(2011) |
| ●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合 | 73.0%(1990) | 82.1%(2011) |

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

モロッコに対する我が国ODA概要

1. 概要

モロッコに対する経済協力は、1967年に青年海外協力隊(JOCV)の派遣を開始して以来、無償資金協力では1979年度以降、農水産、地方開発、道路建設・保守、母子保健などの分野で、円借款では、都市・地方インフラ、上下水道の分野を中心に、直近では教育セクターへの支援を実施している。また、研修や専門家派遣、技プロ、第三国研修の技術協力を実施してきている。

2. 意義

モロッコとの良好な二国間友好協力関係や、同国が我が国にとって、水産資源等の重要な供給国でもあること、また、リン鉱石の主要産出国であることから、同国が抱える若年層の高い失業率や地域的・社会的格差といった問題への取組を支援していく必要がある。

3. 基本方針

バランスの取れた発展と中東・北アフリカ地域の安定化への貢献: 地域的・社会的格差の是正の取組を支援するとともに、安定的な経済運営に基づいた持続的な経済成長の実現を支援する。

4. 重点分野

- (1) 経済競争力の強化・持続的な経済成長: インフラ整備、人材育成、農水産業の振興により雇用創出や産業育成を促すと同時に、持続的な経済成長を支援する。
- (2) 地域的・社会的格差の是正: 地方農村部を対象とした、教育や保健分野などの社会開発を支援するとともに、水資源分野などに関連する生活基盤整備を支援する。
- (3) 南南協力の促進: 歴史的、言語的に密接なつながりを持つ仏語圏サブサハラ・アフリカ諸国の発展に共同で取り組むパートナーとしての関係を強化するとともに、第三国支援等を行う。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1の詳細)

(単位: 億円)

| 年 度 | 円借款 | 無償資金協力 | 技術協力 |
|-----------------|--|--|--|
| 2011年度 | 234.21 億円 ・フェズ・メクネス地域上水道整備計画 (174.40) ・地方道路整備計画 (II) (59.81) | 3.67 億円 ・ノン・プロジェクト無償(1件)(3.00) ・草の根・人間の安全保障無償(8件) (0.67) | ・アブダ・ドゥカラ灌漑地域における灌漑システム向上プロジェクト [11.07~16.07] |
| 2012年度 | 107.90 億円 ・下水道整備計画 (III) (107.90) | 6.35 億円 ・ノン・プロジェクト無償(2件)(6.00) ・草の根・人間の安全保障無償(4件) (0.35) | |
| 2013年度 | 88.99 億円 ・基礎教育セクター支援計画 (88.99) | 0.14 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(2件) (0.14) | |
| 2013年度 までの累計 | 2,899.00 億円 | 350.03 億円 | 355.56 億円(349.74 億円) 研修員受入 1,535 人 専門家派遣 508 人 |

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011年度以降に開始され2013年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

モロッコ

表-3 我が国の対モロッコ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

| 暦年 | 有償資金協力 | 無償資金協力 | 技術協力 | 合計 |
|-------|----------|--------|--------|----------|
| 2009年 | 85.05 | 4.77 | 8.12 | 97.93 |
| 2010年 | 102.78 | 8.23 | 10.15 | 121.16 |
| 2011年 | 18.21 | 1.74 | 10.60 | 30.55 |
| 2012年 | 55.88 | 9.07 | 11.47 | 76.42 |
| 2013年 | 60.75 | 6.93 | 9.08 | 76.75 |
| 累計 | 1,015.55 | 291.71 | 319.31 | 1,626.62 |

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
 2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、モロッコ側の返済金額を差し引いた金額)。
 3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
 4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

| 暦年 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | うち日本 | 合計 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|----------|
| 2008年 | フランス 307.11 | ドイツ 146.54 | 日本 142.98 | スペイン 136.77 | ポルトガル 95.30 | 142.98 | 921.87 |
| 2009年 | フランス 382.89 | スペイン 220.04 | ドイツ 139.78 | 日本 138.67 | 米国 56.53 | 138.67 | 1,014.04 |
| 2010年 | フランス 390.83 | 日本 174.77 | スペイン 119.80 | ドイツ 105.47 | 米国 71.85 | 174.77 | 916.99 |
| 2011年 | フランス 629.50 | 米国 174.21 | ドイツ 119.33 | 日本 99.02 | スペイン 62.37 | 99.02 | 1,159.83 |
| 2012年 | フランス 666.76 | 米国 187.64 | 日本 146.49 | ドイツ 85.78 | ポルトガル 58.24 | 146.49 | 1,240.95 |

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

| 暦年 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | その他 | 合計 |
|-------|------------------------|--------------|------------|--------------------|-------------------|-------|--------|
| 2008年 | EU Institutions 329.44 | AFESD 148.72 | OFID 30.63 | IFAD 9.74 | Isl.Dev Bank 6.15 | 11.86 | 536.54 |
| 2009年 | EU Institutions 282.39 | AFESD 87.20 | OFID 9.02 | GFATM 5.77 | GEF 4.70 | 12.64 | 401.72 |
| 2010年 | EU Institutions 223.44 | AFESD 218.16 | GEF 9.81 | OFID 9.40 | GFATM 6.38 | 13.11 | 480.30 |
| 2011年 | EU Institutions 419.26 | AFESD 210.57 | OFID 19.74 | Isl.Dev Bank 11.06 | IFAD 10.99 | 17.06 | 688.68 |
| 2012年 | EU Institutions 505.74 | AFESD 193.37 | OFID 12.04 | GFATM 7.27 | IFAD 4.16 | 11.06 | 733.64 |

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2013年度実施協力準備調査案件

| 案 件 名 | 協力期間 |
|----------------------|-------------|
| 国鉄輸送力増強事業(IV)準備調査 | 13.11~14. 5 |
| 貝類養殖技術研究センター建設計画準備調査 | 14. 1~14.10 |

出典) JICA

表-7 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

| 案 件 名 |
|-------------------|
| アイト・バハ高校教室増築計画 |
| アイン・シュワタル村用水路改修計画 |

主なプロジェクト所在図

アルジェリア、チュニジア、モロッコ、リビア

